

## 第 15 回紀伊半島三県議会交流会議について

### 1. 概要

- ◆開催日時 令和 3 年 7 月 21 日(水) 11 時 30 分から 16 時まで
- ◆開催場所 奥伊勢フォレストピア<多気郡大台町>
- ◆出席者 三県議会からそれぞれ正副議長含め 7 名の議員 計 21 名
- ◆議題
  - ワーケーションの推進について
  - 紀伊半島アンカールートの整備促進による国土強靱化及び地方創生の推進について
  - 公共事業における木材の活用について

1 議題につき 25 分程度の意見交換を行い、それぞれ活発な議論が展開された結果、いずれも今後、三県議会議長の連名で、制度の拡充や必要となる財源の確保等について国に対し要望していくことを合意しました。

### 2. 代表者会議でのご意見に対する対応

#### (1) 5/21(金)代表者会議でのご意見

- ①各議題に対する各県の回答等会議資料を事前に出席議員全員に配布し、ある程度意見を出していただけるようにすること。
- ②当日の決議(議長まとめ)を事前に議会事務局同士で作成し、少し時間をおいて形だけ発表するようなことは決してないようお願いしたい。
- ③紀伊半島三県知事会議の内容を議員も共有したいし、この三県議会交流会議の意見を各県の知事に報告し共有できれば、三県の知事が三県議会の意見を理解したうえで、三県の知事の今後の活動に活かされ、成果になる気がした。
- ④事前に、出席する三重県議会議員だけで各テーマ(議題)について打合せを行い、三重県の意見を皆で共通認識させること。

#### (2) 改善点

- 事前に、正副議長、当該会議出席議員の計 7 名による打合せの場を設定し、3 つの議題を共有するとともに、三重県の各回答案や当日の質問事項を確認しました。【上記①、④反映】
- 活発な議論が繰り広げられ、当日の意見を踏まえた議長まとめ(別紙参照)を作成しました。  
【上記②反映】
- 議長まとめを議会内で共有しました。【上記③反映】  
会議終了後速やかに、議長名で関係常任委員長及び各委員宛てに議長まとめを送付
- 議長まとめを執行部に共有し、取組を依頼しました。【上記③反映】  
会議終了後速やかに、議長名で紀伊半島三県知事会議担当の戦略企画部長及び関係部局長宛てに議長まとめを送付
- 和歌山県議会及び奈良県議会に、三重県議会の上記の対応を伝え、各県執行部にも議長まとめを共有していただくよう依頼しました。【上記③反映】

## 第 15 回紀伊半島三県議会交流会議 議長まとめ

日 時：令和 3 年 7 月 21 日（水）13 時 55 分～

場 所：奥伊勢フォレストピア

（三重県多気郡大台町菌 993）

### 報 告

前回（令和 2 年 7 月 17 日開催）の交流会議において、「過疎地域の持続的な発展について」及び「大規模広域防災拠点の整備」を国に要望していくことについて合意がなされ、和歌山県議会が三県を代表して要望書を取りまとめ、国及び関係機関に対し要望活動を行った旨、和歌山県議会議長から報告を受けました。

### 議題 1：ワーケーションの推進について

紀伊半島三県ならではの豊かな自然を生かしたワーケーションに関する情報発信などの取組状況について報告がなされました。また、中山間地域における持続可能なワーケーションの取組、受入環境整備や企業と連携したビジネス創出に向けた課題等をどのように解決していくかについて意見が出されました。

ワーケーションの取組を進めるにあたっての課題や知見等に関する情報共有を図り、受け入れ環境の整備に要する補助金等の支援制度の拡充について、三県議会が連携して早急に国に要望していくことで合意しました。

### 議題 2：紀伊半島アンカールートの整備促進による国土強靱化及び 地方創生の推進について

道路整備に必要な予算の確保や事業の推進についての国への要望の取組状況、近畿自動車道紀勢線、国道 168 号・169 号をはじめとした幹線道路の機能強化・ミッシングリンクの解消に向けた整備促進の取組、用地買収の取組などについて意見が出されました。

今後、紀伊半島の観光振興や地域活性化、防災対策などの取組を進めていくうえで欠かせない「紀伊半島アンカールート」の早期整備に向け、東日本大震災及び紀伊半島大水害から 10 年を迎える今、三県議会が連携して国に要望していくことで合意しました。併せて、道路整備に伴うストロー現象などの負の側面に対しても、地域振興の観点から課題意識を共有しました。

### 議題 3 : 公共事業における木材の活用について

公共建築物などの木材利用における三県の現状や課題、利用基準や県産材利用促進に関する木造・木質化の取組等について意見が出されました。

今後、地域の実情に応じた木材の公共利用や公共建築物等への木材利用の促進をさらに各県執行部に働きかけていくため、今後も三県議会で、紀伊半島三県の観光に資する道路の景観向上と県産材産業振興の観点から、木製ガードレールの採用等について、施工事例や課題等の情報共有を図り、意見交換していくとともに、輸入材の制限や人材育成について、国に対して要望していくことで合意しました。

## ワーケーションの普及・定着に資する民間事業者に対する財政支援の拡充について

豊かな自然や歴史風土を有する紀伊半島三県では、それぞれの地域資源を生かしながら様々な取組を進めている。その一方で、少子化・高齢化に歯止めが掛からず人口の減少が進み、コロナ禍による人流の制限が地域の経済活動や人々の生活に追い打ちをかける厳しい状況が続いている。

地方創生に向けて、新たな「関係人口」の創出のため、「地域での消費活動の活性化」、「地域の課題解決に繋がる都市部と地域の連携策の検討」及び「地域側での新たなビジネスの創出」に繋がるワーケーションの取組は、地域にとって、観光振興や消費行動はもちろんのこと、サポートビジネスの発生や、企業誘致・移住定住の手がかりになることが期待できる場所であるが、受入環境の整備が課題となっている。

地域には、遊休施設や余剰スペースを抱える中小企業や個人事業主が少なからずあり、それらを活用し、コワーキングスペースやサテライトオフィスに転用することができれば、ワーケーションの受入環境を充実させることができると考えられる。

ワーケーションの普及・定着を図り、参入する民間事業者の前向き投資を促すため、企業側の多様なニーズに応えられるようなワーケーション関連施設・設備の整備・改修に要する経費等に対する現状の業種・業態を問わない財政支援措置の拡充が必要であることから、国において、これら施策を推進することができる必要十分な予算を確保されるよう強く要望する。

令和3年8月

紀伊半島三県議会交流会議

三重県議会議長	青木謙順
奈良県議会議長	荻田義雄
和歌山県議会議長	森礼子

## 紀伊半島アンカールート of 早期整備について

近畿自動車道紀勢線、京奈和自動車道、国道168号五條新宮道路などで形成される紀伊半島アンカールートは、紀伊半島地域の豊かな自然や歴史・文化などの優れた地域資源を生かした観光振興や地域活性化の取組を進める上で重要な役割が期待されている。

また、東日本大震災や紀伊半島大水害の発生から10年を迎え、近年、全国各地で甚大な被害をもたらしている豪雨災害や南海トラフ巨大地震などの自然災害の発生が危惧されている中、紀伊半島地域の迅速な復旧・復興を支援し、国土強靱化を図る観点から改めて道路整備の重要性が認識されており、紀伊半島アンカールートの早期整備は喫緊の課題となっている。

よって、三県議会は、紀伊半島地域の地方創生や国土強靱化を推進していくために欠かすことができない紀伊半島アンカールートの早期整備に向け、国において、以下の事項に特段の措置を講じられるよう強く要望する。

- 1 近畿自動車道紀勢線や京奈和自動車道及び国道168号五條新宮道路と国道169号の事業区間を早期に完成させるとともに、未事業化区間を早期に新規事業化すること。また、ミッシングリンクの解消や暫定2車線区間の4車線化の早期実現を図ること。
- 2 紀伊半島アンカールートの事業区間の早期完成や未事業化区間の早期事業化に係る所要額を満額確保するとともに、国土強靱化をより一層推進するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づき、道路整備に必要な予算を安定的に確保すること。

令和3年8月

### 紀伊半島三県議会交流会議

三重県議会議長	青木謙順
奈良県議会議長	荻田義雄
和歌山県議会議長	森礼子

## 林業の振興と国産木材の需要拡大、安定供給に向けた更なる取組 について

紀伊半島三県は豊かな森林資源を有し、古くから林業、木材産業が盛んな地域である。

三県の県土の約7割を占める森林は、国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止、木材の生産等の多面的な機能を有しており、戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎え、森林資源の蓄積量も増加している。

近年、SDGsの達成や、脱炭素社会の実現に向けた機運が高まる中、これらに寄与する森林の多面的機能に対する期待が高まっており、森林資源の循環利用を通じた林業の成長産業化と健全な森林の維持が一層重要となっている。

こうした状況にもかかわらず、林業・木材産業を取り巻く環境は、長期にわたる木材価格の下落や担い手の減少など、極めて厳しい状況にあることから、持続可能な森林経営に向けて、更なる国産木材の利用推進が求められている。

また、今回のウッドショックによる輸入材の入荷減少は、国産材の需要拡大に繋がることから、木材の安定供給体制の強化が必要と考える。

よって、三県議会は、国において国産木材の需要拡大を図るため、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要請する。

- 1 国産木材利用の意義や魅力の周知・啓発の取組を強化するとともに、木育指導者の育成・確保に向けた施策等を推進すること。
- 2 国産木材の安定的かつ効率的な供給体制を構築するため、路網の整備、高性能林業機械の導入、林業を担う人材育成等に対する支援を充実すること。
- 3 輸入木材の供給不足に対応した緊急的な対策を講ずるとともに、中長期的に国産木材の安定供給への対策を強化すること。

令和3年8月

紀伊半島三県議会交流会議

三重県議会議長	青木謙順
奈良県議会議長	荻田義雄
和歌山県議会議長	森礼子